

下水道場広島市支部における 取組内容報告



広島市下水道局施設部計画調整課
(下水道場広島市支部事務局)

目次

1. 取組方針

2. 活動内容

3. 今後の展望

4. さいごに

1. 取組方針

はじめに

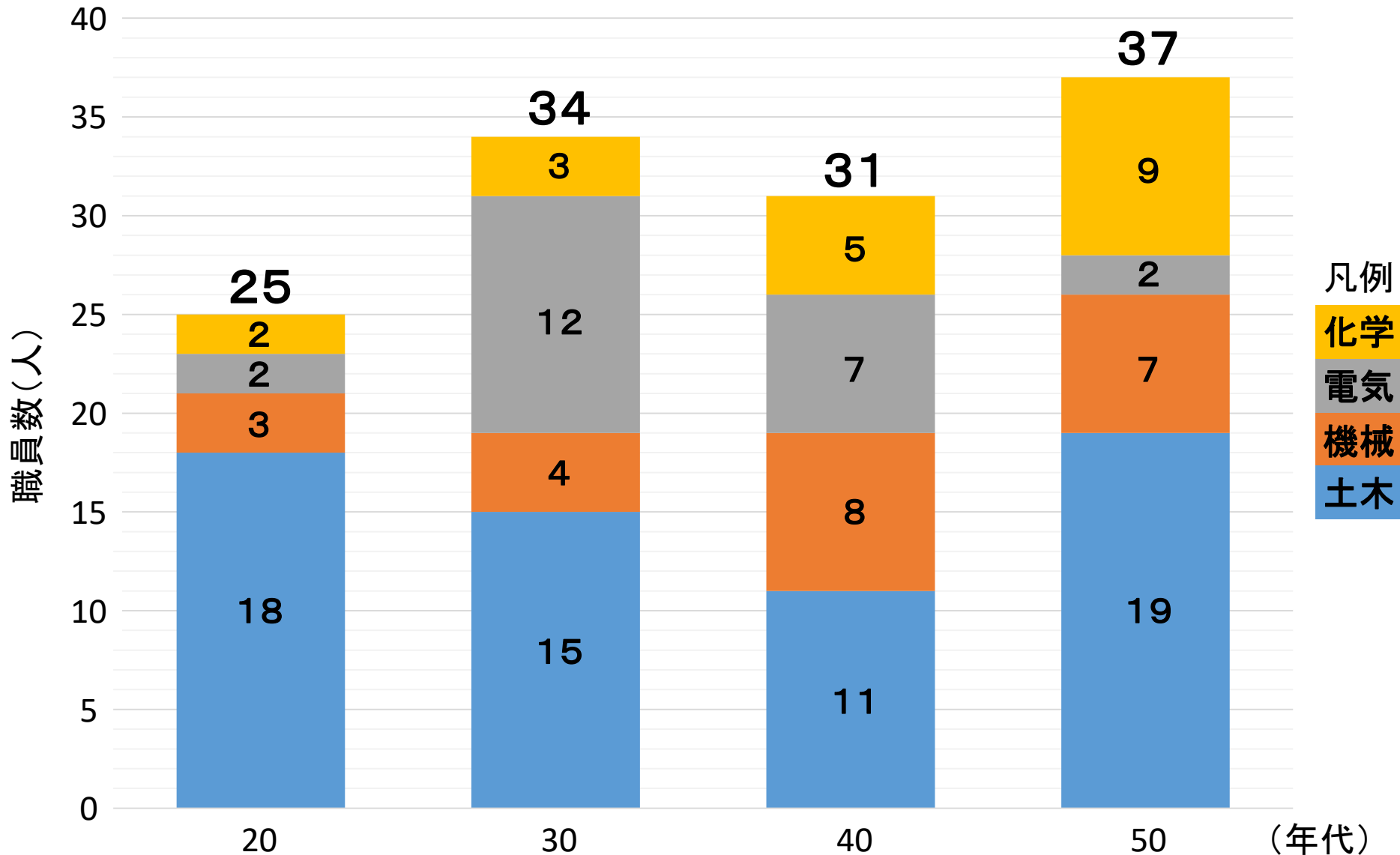
経験豊富なベテラン職員の大量退職 による**技術力の低下が懸念**

管路等の土木施設や、下水処理場の機械・電気設備等の多岐にわたる施設を建設・維持管理していくためには・・・



**専門知識と高い技術力を保持した
職員を育成していく必要がある！！**

下水道局での経験豊富なベテラン職員の大量退職



※ 年齢基準日は、平成30年4月1日

※ 化学は、水産・臨床検査技師を含む

本市下水道場の取組方針は、
上司から指示されて参加する強制参加型

ではなく

若手職員等が自ら学ぶ自主参加型

同世代と一緒に学ぶことで、お互いが刺激を受け、
若手職員同士で自己研鑽意欲をかきたてる。

講師は中堅職員が努める

講師自身の技術力やプレゼンテーション能力を向上
させる狙いがある。

2. 活動内容

下水道場広島市支部の取組として

1

座学

「下水道事業全般の基礎的な知識の習得を目指す」

2

現場研修

「施工現場で高度な技術を体験し、新たな知識の習得を目指す」

3

講師体験

「下水処理などの基礎的な仕組みを学び、その知識を小学生などに教えることでプレゼンテーション能力等の向上を目指す」

4

ワークショップ

「企画立案能力、課題解決能力やプレゼンテーション能力等の向上を目指す」

5

発表会

「これまでの知識や体験等を伝承する」

1 座学

初任者研修

初めて下水道に配属された職員が対象

- 下水道の目的と役割
- 下水処理場の仕組み
- 下水道事業会計
- 下水道事業受益者負担金
etc



設計指針勉強会

初めて下水道に配属された職員が対象

- 本市の設計・積算の考え方を
取りまとめた下水道用設計指針
を解説



1 座学

基調講演

下水道に配属された職員が対象

- 国土交通省下水道部から講師を招聘し、最先端の技術等を講演



維持管理編



積算システム勉強会



2 現場研修

管きよ更生等のデモ施工研修

下水道に配属された職員が対象

- 管きよ更生工法や管きよ維持管理等のデモ施工を見学することで、知識・技術等を習得



2 現場研修

シールド工法研修

下水道に配属された若手職員が対象

- 下水道工事のみならず、上水道工事等の他工種の施工現場を見学することで、新たな知識・技術を習得



2 現場研修

管更生研修



管口カメラ操作



鉄蓋開閉



MH検査



3 講師体験

出前講座

下水道に配属された若手職員が対象

- 若手職員が小学生を対象に実施している下水道出前講座に、スタッフとして参加し、下水処理などの基礎的な知識の習得やプレゼンテーション能力等の向上



4 ワークショップ

ワークショップ型研修

下水道に配属された若手職員が対象



- 下水道事業で直面している課題を柔軟な発想で解決
- ☆ マスコットキャラの作成について～くまむう増殖大作戦～
- ☆ うんこ（下水）川柳の募集



5 発表会

後輩職員へ伝えたいこと

下水道に配属された職員が対象

- 定年退職を迎える職員が、自身の経験等を後輩職員へ伝えることで、技術伝承を行う

下水道局情報交換会

下水道に配属された職員が対象

- 職員が日々の業務の中で培った知識や技術、課題への対応方法等を発表する



200万人広島都市圏構想

本市は、広島県内外の24市が参加する「**200万人広島都市圏構想**※」を掲げています。この構想は、広島広域都市圏域経済の活性化等を目指しており、本市下水道場は、同構想に参加する全23市町の職員まで拡大。

受講対象の拡大は、関係市町でも共通の課題となっている**技術継承や技術者育成**に資するとともに、圏内市町との**連携強化**に繋がっているものと考えています。



※ 広島市の都心部から概ね60km、車で約1時間の圏内の24市町

3. 今後の展望

これまでの取組実績

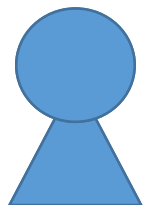
種別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
座学	13	223	14	(54) 241	14	(99) 285	11	(33) 217	10	(53) 204
現場研修	3	100	3	(28) 115	4	(32) 145	2	(7) 58	5	(42) 162
講師体験	2	60	2	34	2	40	1	17	2	33
ワーク ショップ	1	16	6	62	2	17	0	0	2	13
発表会	2	125	2	(13) 148	2	(7) 123	2	(7) 144	-	(-) -
合計	21	524	27	(95) 600	24	(138) 610	16	(47) 436	19	(95) 412

- ※ 平成31年度の数値は、12月末時点である。
- ※ () 内は、関係市町等の参加者の内数を示す。

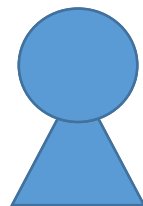
開催の苦勞

- ・本市下水道場の予算は、ほぼ0円です。
- ・予算がない中で、いかに受講生が満足いただける研修にするべきか、毎年、研修スケジュールを計画することが悩ましい・・・
- ・それでも、各関係部署の皆様には、本市下水道場へのご理解、ご協力いただいております。

参加者からの声



初任者研修としては、申し分のない内容だった。
時間が短かったなので、より研修時間を長く
とってほしい。



国の最先端の動向を学ぶことができるこの
ような研修を今後も、継続して開催をお願い
したい。



他都市の現場にも出向き、本市との施工
方法等の違いを学びたい。
研修で学んだことを、実務に活かしたい。

今後の展望&希望☆

- ・ 現場研修の開催地を関係市町で開催
- ・ 本市の職員を講師として、関係市町へ派遣
- ・ 本市下水道場の研修の一部を、各所属のOJTで実施
- ・ ワークショップをより一層充実させ、若手職員を中心とした市民への情報発信及び新たな企画立案。
- ・ 他事業や他分野との情報交換
- ・ 若手職員のためのQ&Aマニュアルの作成

4. さいごに

人材育成の一助として下水道場を継続

ただの研修ではなく、講師と受講者がお互いに刺激しながら、毎回学ぶことが楽しいと思えるように



そうして育った中堅職員が、形式にとらわれず若手と共に学びながら仕事をし、また新たな知識を習得する



この流れを作りたい

専門知識と高い技術力を保持した職員
★下水道の魅力を発信できる人材に！